

16 グリーン・ツーリズムに関する情報発信について

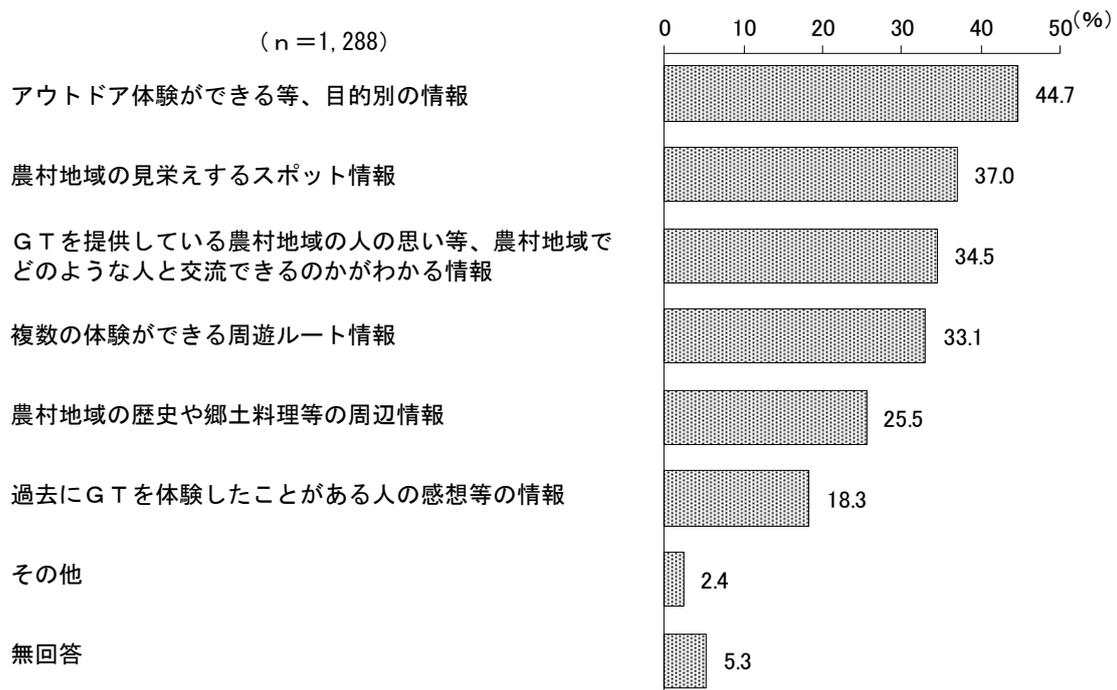
(1) グリーン・ツーリズムを楽しむために必要な情報

問44 農村地域でグリーン・ツーリズム（※）（以下、G T）を楽しむ（楽しんだことがない方は楽しみたくなる）ためには、施設やイベント情報に加えて、どのような情報が必要ですか。次の中からいくつでも選んでください。

※ G Tとは、農山漁村地域で、農産物直売所での購買や農村レストランでの地産地消、農家民宿での宿泊、農作物の収穫などの農業体験等を楽しむことです。

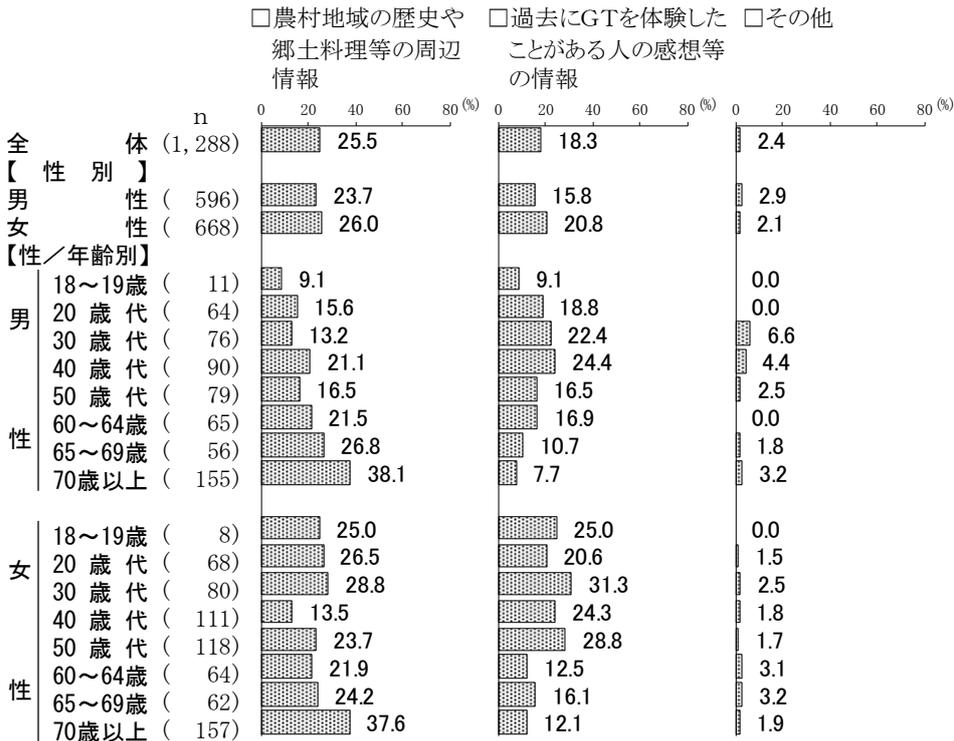
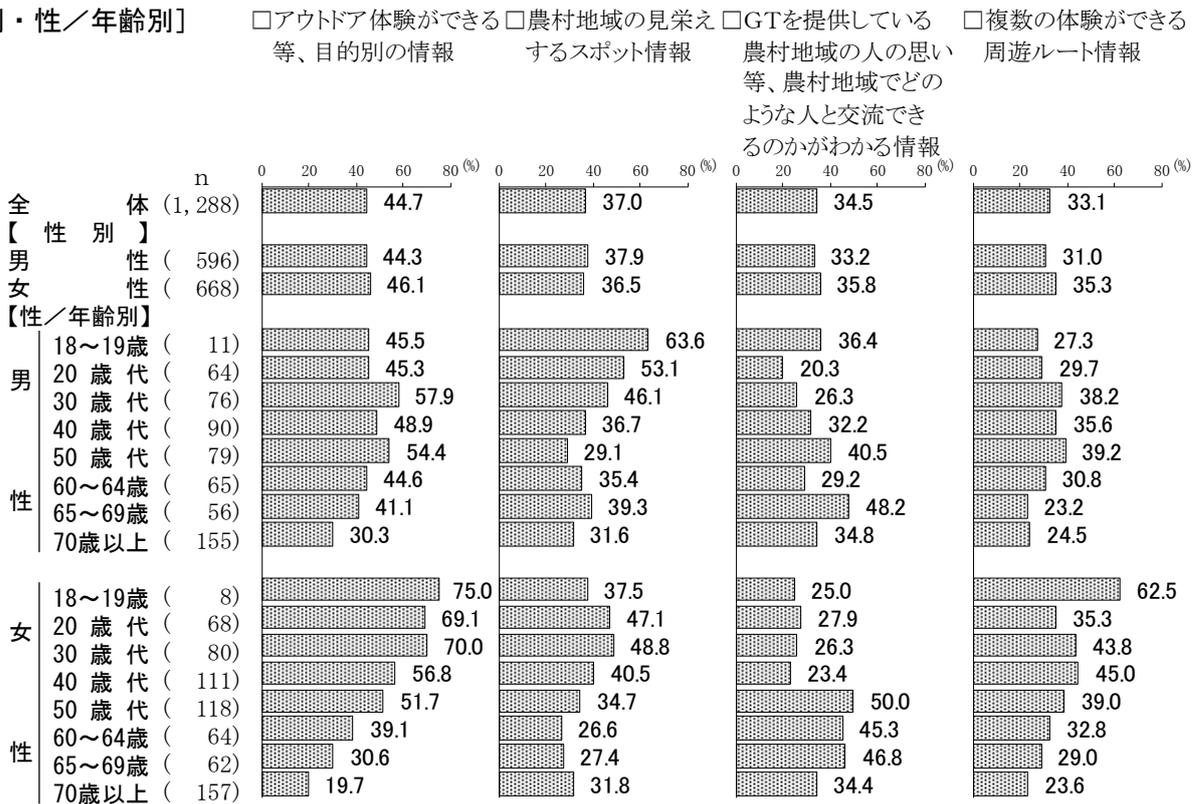
[n=1,288]

1 農村地域の見栄えするスポット情報	37.0%
2 G Tを提供している農村地域の人 の思い等 農村地域でどのような人と交流できるのかがわかる情報	34.5
3 過去にG Tを体験したことがある人の感想等の情報	18.3
4 アウトドア体験ができる等、目的別の情報	44.7
5 複数の体験ができる周遊ルート情報	33.1
6 農村地域の歴史や郷土料理等の周辺情報	25.5
7 その他	2.4
(無回答)	5.3



全体で見ると、「アウトドア体験ができる等、目的別の情報」(44.7%)が4割半ばで最も高く、次いで「農村地域の見栄えするスポット情報」(37.0%)、「G Tを提供している農村地域の人
の思い等、農村地域でどのような人と交流できるのかがわかる情報（以下『農村地域でどのような人と交流できるの
かがわかる情報』とする。）」(34.5%)、「複数の体験ができる周遊ルート情報」(33.1%)、「農村地域の歴史や郷土料理等の周辺情報」(25.5%)の順となっている。

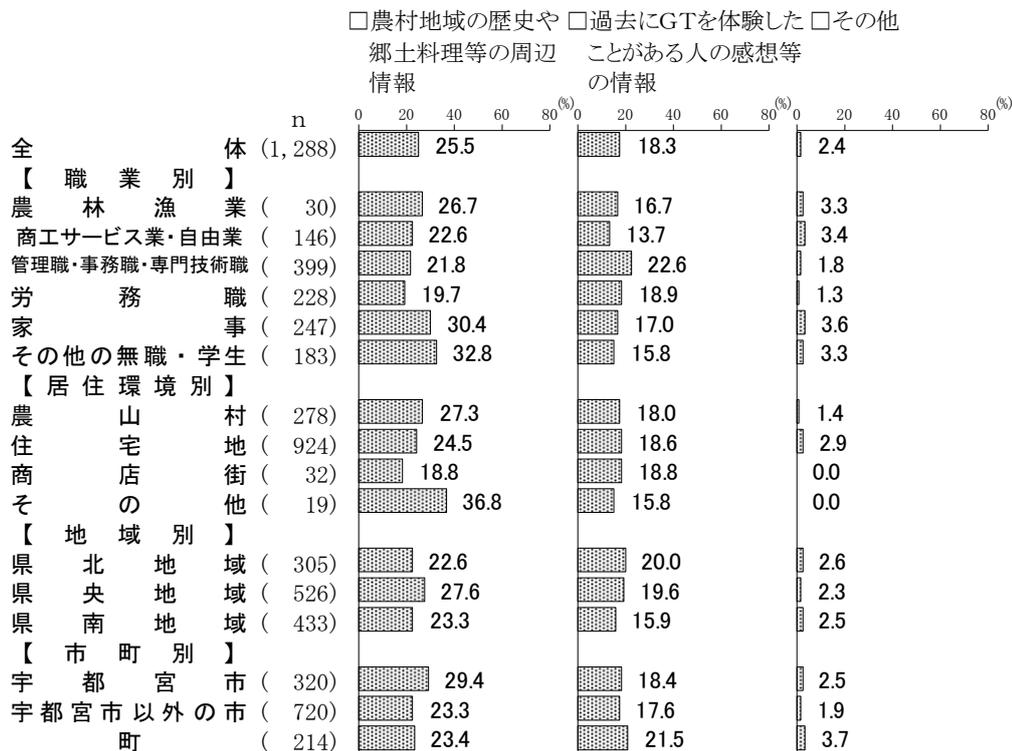
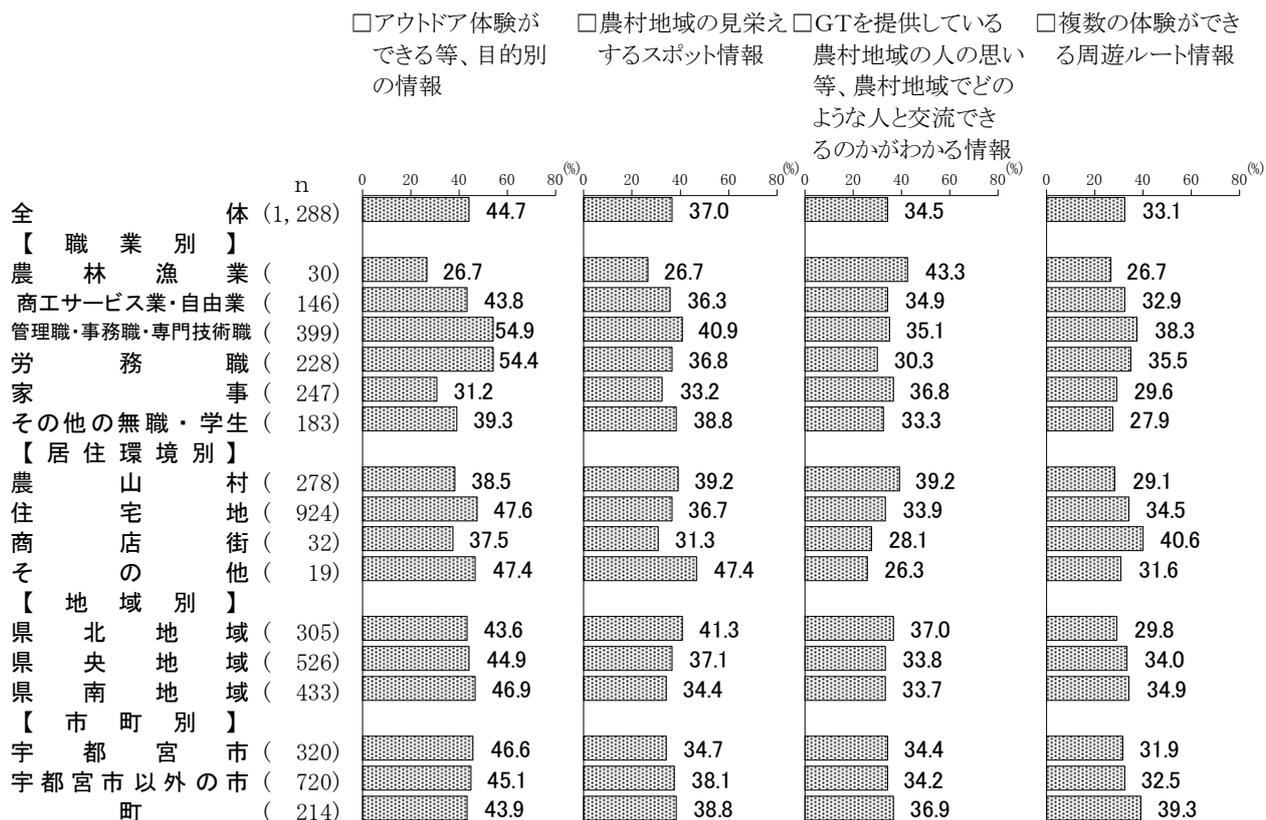
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「アウトドア体験ができる等、目的別の情報」では〈女性30歳代〉が70.0%、〈女性20歳代〉が69.1%と高くなっている。「農村地域の見栄えするスポット情報」では〈男性20歳代〉が53.1%と高くなっている。『農村地域でどのような人と交流できるのかがわかる情報』では〈女性50歳代〉が50.0%と高くなっている。「複数の体験ができる周遊ルート情報」では〈女性40歳代〉が45.0%と高くなっている。「農村地域の歴史や郷土料理等の周辺情報」では〈男性70歳以上〉が38.1%、〈女性70歳以上〉が37.6%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「アウトドア体験ができる等、目的別の情報」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が54.9%、〈労務職〉が54.4%と高くなっている。

居住環境別でみると、「アウトドア体験ができる等、目的別の情報」では〈住宅地〉が47.6%と高くなっている。

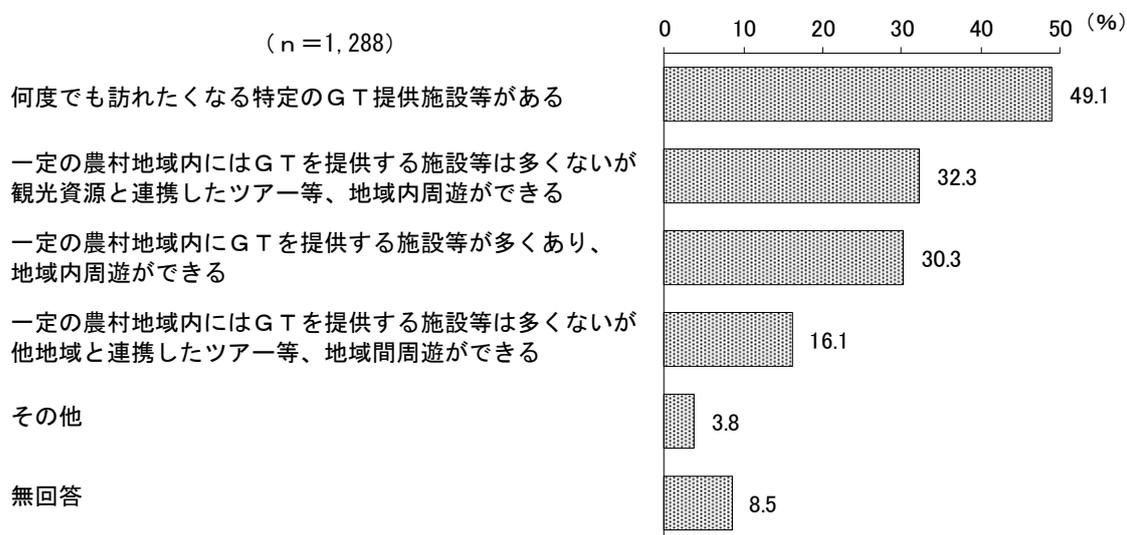
地域別・市町別では、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 農村地域に繰り返し訪れたいとする事例

問45 どのような場合に農村地域に繰り返し訪れたいと考えますか。次の中からいくつでも選んでください。

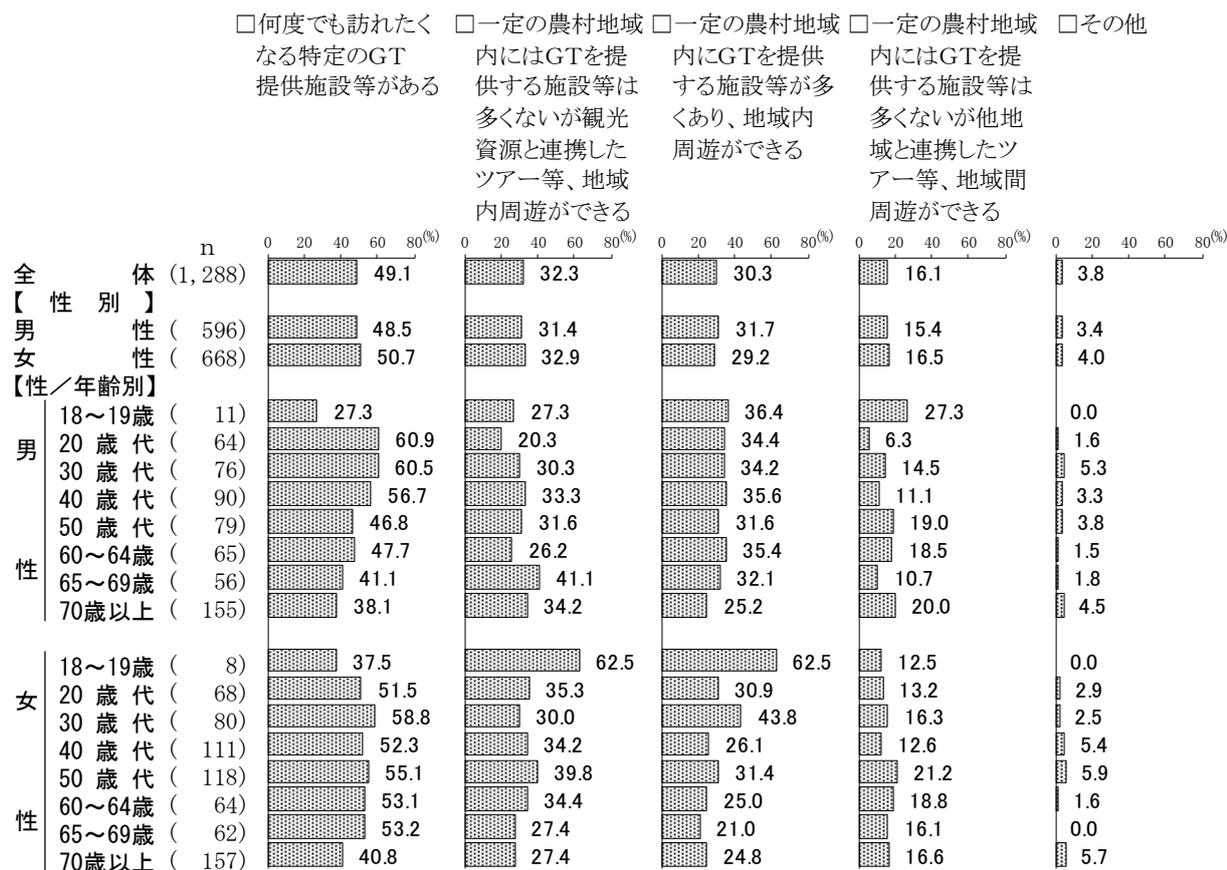
[n=1,288]

1	何度でも訪れたいとする特定のG T提供施設等がある	49.1%
2	一定の農村地域内にG Tを提供する施設等が多くあり、地域内周遊ができる	30.3
3	一定の農村地域内にはG Tを提供する施設等はないが観光資源と連携したツアー等、地域内周遊ができる	32.3
4	一定の農村地域内にはG Tを提供する施設等はないが他地域と連携したツアー等、地域間周遊ができる	16.1
5	その他	3.8
	(無回答)	8.5



全体で見ると、「何度でも訪れたいとする特定のG T提供施設等がある」(49.1%)がほぼ5割で最も高く、次いで「一定の農村地域内にはG Tを提供する施設等はないが観光資源と連携したツアー等、地域内周遊ができる(以下『観光資源と連携したツアー等、地域内周遊ができる』とする。)」(32.3%)、「一定の農村地域内にG Tを提供する施設等が多くあり、地域内周遊ができる」(30.3%)の順となっている。

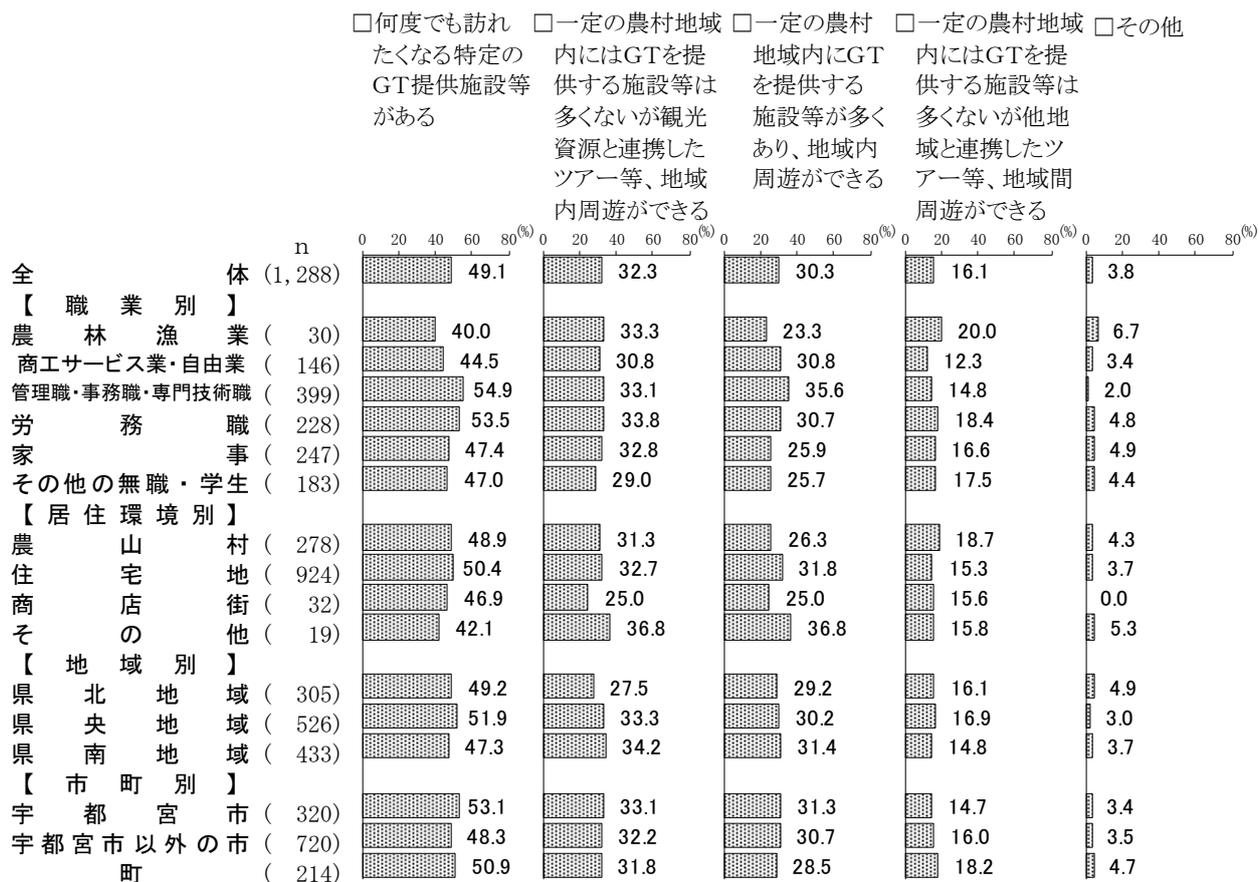
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、「何度でも訪れたい特定のGT提供施設等がある」では〈男性20歳代〉が60.9%、〈男性30歳代〉が60.5%と高くなっている。「一定の農村地域内にGTを提供する施設等が多くあり、地域内周遊ができる」では〈女性30歳代〉が43.8%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「何度でも訪れたい特定のGT提供施設がある」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が54.9%と高くなっている。「一定の農村地域内にGTを提供する施設等が多くあり、地域内周遊ができる」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が35.6%と高くなっている。

居住環境別でみると、「一定の農村地域内にGTを提供する施設等が多くあり、地域内周遊ができる」では〈住宅地〉が31.8%と高くなっている。

地域別・市町別では、大きな傾向の違いはみられない。